



第19回上田八木・金融政策サーベイ(2018年4月)

発表日：2018年4月25日（水）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年4月20～24日
調査先	196先
回答率	91.3%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（4月26日～4月27日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回3月7日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	0
不変	99	99	0
引締	0	0	0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	▲1	0

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月7日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	87	92	▲5
上昇	11	7	+4
短期金利予想DI	+9	+6	+3

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月7日)	変化幅
低下	2	2	0
不変	88	86	+2
上昇	10	12	▲2
2年国債金利予想DI	+8	+10	▲2

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月7日)	変化幅
低下	3	2	+1
不変	81	79	+2
上昇	16	19	▲3
10年国債金利予想DI	+13	+17	▲4

質問(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回3月7日)	変化幅
1. 1年未満	3%	6%	▲3%
2. 1年以上3年未満	76%	71%	+5%
3. 3年以上	21%	23%	▲2%